

### 《社会情報学系》

社会情報学系では、社会のニーズに応える社会情報を構築するために、社会情報に対する深い関心と理解を持ち、情報表現、情報分析、メディア文化、経営学、心理学、および、スポーツ科学に関する知識を学び、これらの統合により新たな価値の創造ができるよう学ぶ必要がある。これらを実現するために、専門教育科目を「専門基礎科目」、「専門応用科目」、「卒業研究」に分類する。

1. 専門基礎科目を、「共通」、「情報システム」、「数理情報」、「社会情報」に区分する。
2. 専門基礎科目に配当する「共通」科目では、社会情報学系の導入教育として、「総合情報学」や「社会情報学系」の基礎演習を設置する。
3. 専門基礎科目に配当する「社会情報」科目では、社会情報全般にわたる基礎知識、映像・音響、CGに関する基礎的な技術、メディア文化、経営学、心理学、スポーツ科学の基礎知識を習得する。
4. 専門応用科目に配当される「社会情報」科目では、映像表現、音響技術、CG技術、メディア文化、経営学、心理学、スポーツ科学に関する専門的知識と技術を習得する。
5. 社会情報学に関連する幅広い分野の知識と技術の習得を奨励するために、「情報システム」、「数理情報」の専門基礎科目および専門応用科目を、自由選択科目として選択・履修できるようにする。
6. 「卒業研究」では、社会情報学の学びを総合的に活用し、自ら課題を設定し、理論と実践を融合し、実社会に対応できる情報表現能力や問題解決能力を個別指導により養い、卒業論文として纏める。

## 2. 授業科目の履修及び進級・卒業要件について

### 1) 総合情報学部履修について

2～4年次生は、その年度に受講したい科目の全て（前期・後期科目とも）を登録します。

なお、1年次は前期・後期、各学期毎に登録します。後期科目の履修については、9月のガイダンス時に説明します。

授業科目を履修するうえで、以下のことに注意してください。また、5) 卒業要件に掲載している各学系の卒業所要単位数も確認しながら履修してください。

#### (1) 必修科目の履修

- ①各学系で、必修科目に指定している科目は、必ず選択履修してください。
- ②1年次配当の必修科目を3年次までに単位修得できない場合は、4年次に進級できません。

#### (2) 選択必修科目の履修

- ①全学基礎科目／スポーツに配当されている「スポーツ演習a～d」の中から、必ず1科目（1単位）を選択履修してください。
- ②共通基礎科目／知識創造に配当されている「知識創造の方法a～f」の中から、必ず1科目（2単位）を選択履修してください。
- ③専門基礎科目において、各学系が選択必修と指定している科目から、各学系が定めた単位数を選択履修してください。なお、所定の単位数を超えて修得した単位数は、選択科目の専門基礎の単位数とします。
- ④専門応用科目において、各学系（情報システム学系及び数理情報学系対象）が選択必修と指定している科目から、各学系が定めた単位数を選択履修してください。なお、所定の単位数を超えて修得した単位数は、選択科目の専門基礎の単位数とします。

#### (3) 選択必修科目（外国語）の履修（2年次）

- ①全学基礎科目／外国語及び共通基礎科目／実用語学に配当されている以下の科目から、必ず1組（2単位）を選択履修してください。
  - ・「中国語a・b」
  - ・「コンピュータ英語a・b」
  - ・「ハングル・韓国語a・b」
  - ・「ビジネス英語a・b」
- ②各クラスの履修者数が40名を超えた場合、抽選により履修者数を制限する場合があります。抽選方法等は、J-portのシラバス及び初回の講義で確認してください。
- ③外国人留学生は母国語の科目を履修することはできません。  
※外国人留学生とは、本学の「外国人留学生試験」を受験して入学した留学生が対象となります。

#### (4) 選択科目の履修

①各学系で、選択科目に指定している科目の中から、各学系が定めた単位数を選択履修してください。

#### (5) 外国人留学生の履修

①外国人留学生は、「日本語 a～d」を必修とし、必修科目・外国語の単位数とします。なお、「英語 a～d」を単位修得した場合は、2単位まで選択必修科目・外国語の単位にします。

②授業科目表の科目名に「(※)」が付記されている科目は、外国人留学生対象科目です。積極的に履修してください。

#### (6) セット履修、ステップ履修科目について

セット履修、ステップ履修科目については、56ページ、85～86ページに掲載しています。

## 2) 単位制

単位制とは、学則第11条から第14条の規定に基づき、各入学年度の教育課程によって定められた全ての授業科目に一定の基準で単位数を定め、その授業科目を履修し、学修の成果を試験等により評価し、合格することで、所定の単位を修得していく制度です。

単位計算の基準は以下のとおりです。

| 区 分 | 授業時間    | 授業外学習時間 | 単位数 |
|-----|---------|---------|-----|
| 講 義 | 2時間×15週 | 4時間×15週 | 2単位 |
| 演 習 | 2時間×15週 | 1時間×15週 | 1単位 |
| 外国語 | 2時間×15週 | 1時間×15週 | 1単位 |

\*時間割上の1時限は90分授業であり、上記の2時間とみなされる。

\*授業時間は毎週1回を標準とする。

## 3) 年間履修単位数 (CAP制)

1年間及び各学期に履修できる上限単位数を、以下のとおり設定しています。これは、上記の単位制に基づき、単位を修得するためには、授業の他に授業外学修（予習や復習）の時間を確保する必要があり、履修単位数が多くなるとそれに比例して授業外学修の時間も多くなることを防ぐための制限です。

例えば、講義科目を20単位修得するには、**1週間に20時間の授業と40時間の授業外学修**をすることになります。

#### 【履修登録単位数の上限】

・1年間に履修登録できる単位数の上限・・・48単位（52単位）

・各学期に履修登録できる単位数の上限・・・26単位（28単位）

※前期で26単位履修登録した場合、後期は22単位までしか履修できません。

※教職課程科目については、この履修登録単位数の制限から除外します。

※1年間開講する科目（通年科目）は、単位数を2分し、各学期の登録単位数としてカウントします。

※集中授業は、夏季は前期、冬季は後期としてカウントします。

※〈 〉内の単位数は、前学期までの通算GPAが3.0以上の時に履修登録できる上限単位数を表します。

## 4) 進級要件

2年次から3年次および3年次から4年次への進級、ならびに卒業するために、それぞれ要件が定められています。この要件を満たすように履修登録をし、単位修得するようこころがけてください。なお、要件を満たしていても休学した場合は翌年度は原級となります。

#### (1) 1年次から2年次への進級

2年次への進級の際には要件はありませんが、1年次終了時に修得単位数が25単位に満たない者あるいは後期の修得単位数が6単位に満たない者、または当該年度のGPAが1.0未満の者には、年度末に指導を行います。

#### (2) 2年次から3年次への進級

入学後の2年間（休学期間を除く）で、修得単位が50単位に満たない者は、第3年次に進級することができません。

#### (3) 3年次から4年次への進級

3年次終了の時点で、以下の要件を満たさない者は、第4年次に進級することができません。

①修得単位が90単位以上であること。

- ② 1 年次配当の必修科目の単位を全て修得済であること。  
 なお、3 年次編入学生に対しては、②の要件は適用されません。

## 5) 卒業要件

学則及び総合情報学部履修規程により、卒業に必要な単位数が、以下のとおり学系ごとに定められています。

### 《情報システム学系》

| 卒業要件単位数 |       |     |      |      |      |      |         |     |      |      |      |       |          |             |
|---------|-------|-----|------|------|------|------|---------|-----|------|------|------|-------|----------|-------------|
| 合計      | ◎必修科目 |     |      |      |      |      | ○選択必修科目 |     |      |      |      | △選択科目 |          |             |
|         | 現代実学  | 外国語 | 基礎演習 | 情報基礎 | 専門基礎 | 卒業研究 | スポーツ    | 外国語 | 知識創造 | 専門基礎 | 専門応用 | 総合基礎  | キャリアデザイン | 専門選択(基礎・応用) |
|         | 4     | 4   | 2    | 6    | 13   | 11   | 1       | 2   | 2    | 18   | 6    | 8     | ※        | 47          |
| 124     | 40    |     |      |      |      |      | 29      |     |      |      |      | 55    |          |             |

- (1) キャリアデザイン科目(※)は専門選択の単位とする。  
 (2) 実用語学の「日本語総合演習」は選択科目・総合基礎の単位とする。  
 (3) 選択必修科目・専門基礎の卒業要件である18単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。  
 (4) 選択必修科目・専門応用の卒業要件である6単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。  
 (5) 他学科履修において修得した単位は、8単位まで専門選択の単位とする。  
 (6) 専門教育科目の自由選択科目を履修し修得した単位は、他学系履修として取扱い20単位まで専門選択の単位とする。  
 ただし、このうち科目区分「社会情報」の単位は8単位以内とする。

### 《数理情報学系》

| 卒業要件単位数 |       |     |      |      |      |      |      |         |     |      |      |      |       |          |             |
|---------|-------|-----|------|------|------|------|------|---------|-----|------|------|------|-------|----------|-------------|
| 合計      | ◎必修科目 |     |      |      |      |      |      | ○選択必修科目 |     |      |      |      | △選択科目 |          |             |
|         | 現代実学  | 外国語 | 基礎演習 | 総合基礎 | 情報基礎 | 専門基礎 | 卒業研究 | スポーツ    | 外国語 | 知識創造 | 専門基礎 | 専門応用 | 総合基礎  | キャリアデザイン | 専門選択(基礎・応用) |
|         | 4     | 4   | 2    | 4    | 6    | 19   | 11   | 1       | 2   | 2    | 12   | 12   | 4     | ※        | 41          |
| 124     | 50    |     |      |      |      |      |      | 29      |     |      |      |      | 45    |          |             |

- (1) キャリアデザイン科目(※)は専門選択の単位とする。  
 (2) 実用語学の「日本語総合演習」は選択科目・総合基礎の単位とする。  
 (3) 選択必修科目・専門基礎の卒業要件である12単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。  
 (4) 選択必修科目・専門応用の卒業要件である12単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。  
 (5) 他学科履修において修得した単位は、8単位まで専門選択の単位とする。  
 (6) 専門教育科目の自由選択科目を履修し修得した単位は、他学系履修として取扱い20単位まで専門選択の単位とする。  
 ただし、このうち科目区分「社会情報」の単位は8単位以内とする。

### 《社会情報学系》

| 卒業要件単位数 |       |     |      |      |      |      |         |     |      |      |      |          |             |
|---------|-------|-----|------|------|------|------|---------|-----|------|------|------|----------|-------------|
| 合計      | ◎必修科目 |     |      |      |      |      | ○選択必修科目 |     |      |      |      | △選択科目    |             |
|         | 現代実学  | 外国語 | 基礎演習 | 情報基礎 | 専門基礎 | 卒業研究 | スポーツ    | 外国語 | 知識創造 | 専門基礎 | 総合基礎 | キャリアデザイン | 専門選択(基礎・応用) |
|         | 4     | 4   | 2    | 6    | 6    | 11   | 1       | 2   | 2    | 10   | 8    | ※        | 68          |
| 124     | 33    |     |      |      |      |      | 15      |     |      |      |      | 76       |             |

- (1) キャリアデザイン科目(※)は専門選択の単位とする。  
 (2) 実用語学の「日本語総合演習」は選択科目・総合基礎の単位とする。  
 (3) 選択必修科目・専門基礎の卒業要件である10単位を超えて修得した単位は、専門選択の単位とする。  
 (4) 他学科履修において修得した単位は、8単位まで専門選択の単位とする。  
 (5) 専門教育科目の自由選択科目を履修し修得した単位は、他学系履修として取扱い20単位まで専門選択の単位とする。

### NOTICE

外国人留学生は、「日本語 a～d」と「英語 a～d」の両方が履修できます。「英語 a～d」は、2 単位まで選択必修科目・外国語の単位とすることができます。

※「外国人留学生」とは、本学の「外国人留学生入試」を受験して入学した留学生が対象となります。

## 6) 進級・卒業者発表

学年末試験の結果を受けて2～4年生を対象に進級・卒業判定を行い、上記の要件を満たした者を進級・卒業者として3月中旬に発表します。発表日および発表場所は、J-portで連絡します。

## 7) 卒業見込証明書の発行

卒業見込証明書は、4年次4月の履修登録の結果を踏まえて、卒業見込判定を行い、卒業要件を満たした学生にだけ5月中旬頃から証明書自動発行機で発行します。

## 8) 学士の学位

卒業要件を満たした者に対しては、学士（総合情報学）の学位を授与します。

## 9) 9月卒業

本学に4年以上在学したものの、所要の卒業単位を修得できずに留年した者が、前期科目の履修と単位の修得をもって卒業要件を満たした場合は、9月30日付けで卒業することができます。

## 10) 表彰

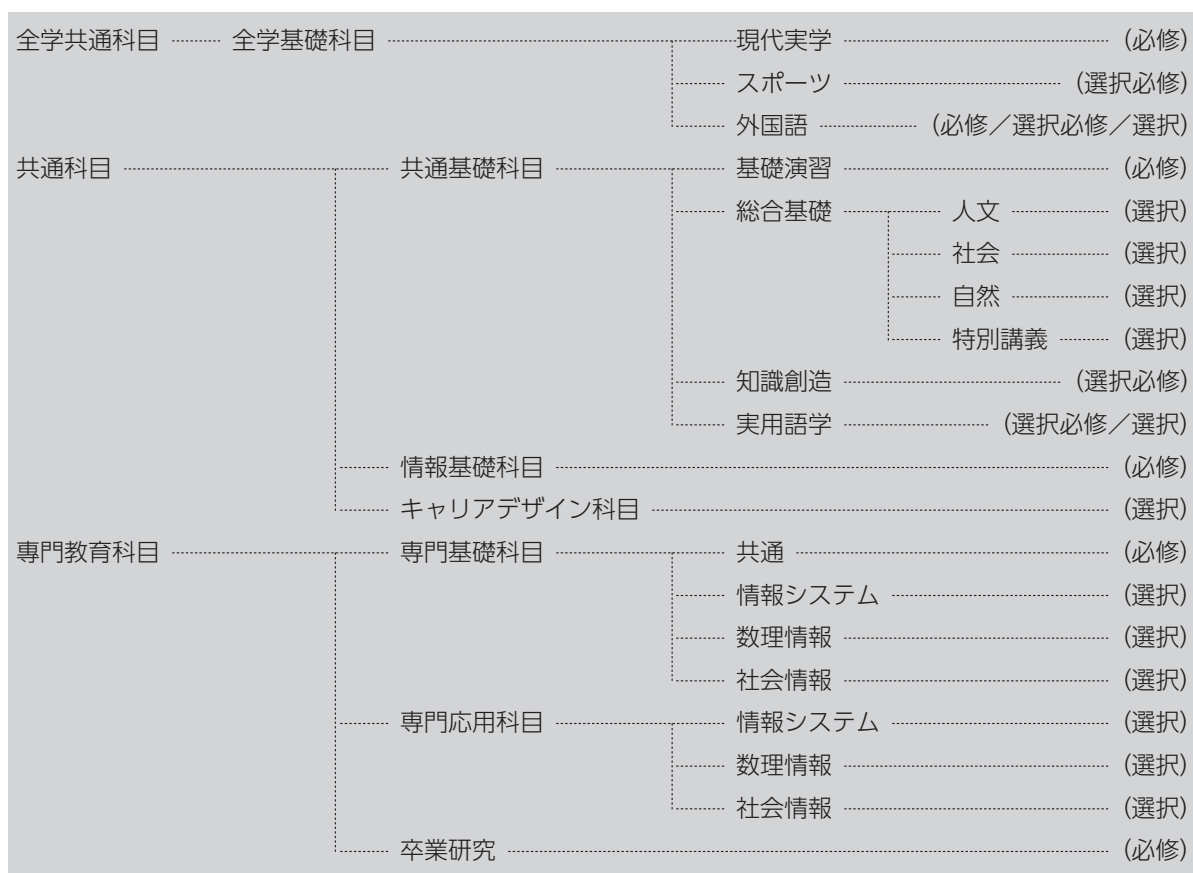
学則に基づき、在学中に極めて優秀な成績を修めた者には「学業成績優秀賞」を、極めて優秀な卒業論文（卒業制作を含む）を作成した者には「卒業論文優秀賞（学長賞・小田賞）」を授与して表彰します。また、スポーツ・文化の部門においても、特に抜群の成果を挙げた者には、「スポーツ・文化賞」を授与して表彰します。

表彰は、該当者の学位記授与式の際に行います。

# 3. 教育課程

## 1) 授業科目の分類

(1) 授業科目は、以下の科目群に分類されます。



※以上の他に、教職課程科目、放送大学および千葉県内私立大学との単位互換科目が開講されています。